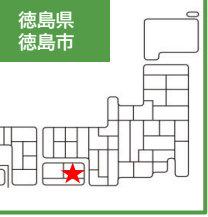


農業法人4社が共同して障害者就労施設を立ち上げ、県内の各JAと連携して、県内全域の農家で施設外就労を行い、農業経営の効率化や規模拡大に貢献。

農業経営体

徳島県
徳島市



基本情報

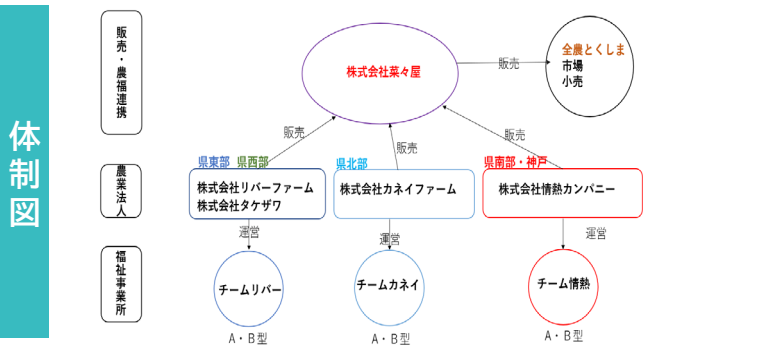
設立: H24年/農福連携取組開始: H27年

取得認証等: JGAP

概要

主力商品
(農作物)こまつな、ちんげんさい、なす、レタス 等

特徴的な取組
スマート農業



088-674-5627/nanaya.center@gmail.com/
<https://nanaya-agri.com/>

きつかけ
人を耕す
地域を耕す
未来を耕す
取組
成果

H27年

県内各地の農業の人手不足と福祉業界のマッチングを決意し、地域で働きたくても働けない障害者が働ける環境整備のため、農業に特化した障害者就労施設を設立。

- 人々を耕す
- 様々な農業現場での作業を通じて障害者が社会性を育み、一般就労を目指せるよう支援し、これまで41名が農業法人、JA等に一般就労。
 - 農場長として働いていた障害者が露地野菜の農家として独立し、その後のサポートも実施。
 - 障害者就労施設の利用者に対して、体力や特性に合わせて農作業を細分化するとともに、評価書(アセスメントシート)による評価を実施。利用者が安全に作業できるよう体調管理にも配慮。
- 地域を耕す
- 新規就農者や規模拡大をめざす農業法人から作業を受託して、障害者が収穫、徳島県のブランドさつまいも「なると金時」のパック詰め等を行い、農業経営の効率化や規模拡大に貢献。
 - 中山間地での「すだち」の収穫支援により、人手不足の解消に貢献。
- 未来を耕す
- 農業経営者ならではの知見を活かして、地域の様々な作物に関する作業委託に対して、作業の細分化と年間スケジュールの作成により、農福連携が円滑に実施できる仕組みづくりを実施。
 - 障害者がコンバインによる収穫作業を行うなど新たな技術習得にもチャレンジ。
 - 特別支援学校での農業体験授業や地域貢献活動としてボランティアや農産物の販売を実施。

平均工賃月額	施設利用者数	売上高	農地面積
4,838円/人(H27) → 81,098円/人(R5)	31人(H27) →91人(R5)	3,000万円(H27) →15,782万円(R5)	31ha(H27) →63.4ha(R5) ※4社の総面積

- 成果
- 「なると金時」を栽培している農業法人で障害者が施設外就労し、年間40tの芋の皮むきを実施することで、生産量が13%増加。
 - 徳島県からの出荷量が減っている「すだち」の植樹事業を開始し、荒廃農地の解消に貢献。
 - 障害者が生産に携わった白なすをマレーシアに輸出。
 - 障害者が生産に携わった野菜を加工し、祭りの屋台で販売するほか、弁当にして単身高齢者世帯への配達等も実施。